

金沢市および周辺地域商店街等に対する学生広報活動による地域活性化プロジェクト

学生団体名： 金沢学院大学 メディアデザイン学科

参加学生： 町方珠代・川村官世・西山貢未・木原亜耶・長手明日美・山崎知世・寺口葉子 他 23名

1. 地域活動の概要

私たちはこれまでも、高齢化または空洞化の進んだ地域に対してデザインの力で活力を与える活動に取り組んできた。金沢市内および近隣地域の商店街・企業・第三セクター団体等からの依頼に基づくチラシ・ポスター・CM等は大変好評で、今年度は、それらに加え、さらに、金沢ケーブルテレビの協力を得て、地域を紹介する番組制作に取り組んだ。

2. 地域活動の具体的な内容

・実施日時 7月1日～2月末日

・実施内容 (1) ケーブルテレビ制作(金沢ケーブルテレビ「KGチャンネルまちザラシ」)
～ 新竪町商店街、森本商店街、その他を紹介～ (次頁参照)

(2) CM映像制作 (アトリオ他)

(3) 商品企画 (道の駅の商品パッケージ) 菓子の商品シール、地域米のブランディング

(4) 制服デザイン (介護施設制服デザイン案)

・参加者数 30名

3. 地域活動の成果

今回、メインの取組みはケーブルテレビの番組制作であった。チラシなどの広告戦略では、情報発信に限界あるため、地域コミュニティーに広範囲に情報を届けるメディアとして、ケーブルテレビの番組制作に取り組むこととした。その結果、多くの視聴者の方から番組を見たという反響があり、放映された商店街に遠方から足を運ぶお客様も増えたという声も届いた。

4. 来年度の地域活動計画

来年度に関しても、更に、体制を強化して地域情報の掘り起こしを推進して、商店街や地域の思いを吸い上げ、活性化の支援していきたい。

5. 学生の感想

地域や企業の方々と実際にやり取りをすることで、授業では学ぶことが出来ないビジネスマナー、言葉遣い、メールの書き方等も勉強になった。制作したものは映像メディアとして実際に情報発信され、自分達の取組んだことが、映像や画像として記録に残り、達成感を感じた。

6. 地域からの評価

われわれの取組みは、地域からも好評で、学生の若い感性や取組み姿勢に好感を持って頂いた。以下地域の方々コメントを箇条書きで示す。

- ・学生が消費者の立場で制作することで、新たな価値が発見できたという意見が寄せられた。
- ・学生が本格的に映像制作に取り組んでいることに興味を持った。また、機会があればお願いしたい。
- ・現在、広告費に余裕のない商店街に対して、ボランティア学生がPRしてくれることに感謝したい。
- ・ケーブルテレビの番組制作活動を見て、若い層への働き掛けの重要性も分かった。町の雰囲気や、扱う商品なども見直したい。

主にケーブルテレビで取り上げたシーンおよび制作の様子を紹介



撮影スタッフ（授業で学んだ成果を発揮）



金沢 21 世紀美術館 イベントの取材



インタビュアー 街散策風景



情報番組デスク



金沢および全国の学生達が
能登活性化に参加（取材画像）



学生アナウンサー



八田町のお祭り（取材画像）



商店街取材・撮影風景



商店街取材・撮影風景